

自校の指導ツールを他校の教師とともに検討し、各校の生徒特性に合った形へ改善を図る本コーナー。今回は、専門学科の「課題研究」のルーブリックを使って生徒の学びの成果を可視化するための指導について検討する。

山口県立下関工科高校 かすが よしえ 春日貴江先生提供
「ルーブリック」

Before

課題研究ルーブリック 応用化学工学科

資質・能力	行動目標	A	B	C	D	自己評価			
主体性	指示を待つのではなく、自分がやるべきことを見つけ、自発的に取り組むことができる。	自分がやるべきことを見つけ率先して課題に取り組む。	指示を仰ぎ、意欲的に課題に取り組む。	指示を待って、課題に取り組む。	前向きに課題に取り組むことができない。				
実行力	失敗を怖れずに行動することができる。	何事に対しても前向きにチャレンジすることができる。	すすめられればチャレンジできる。	他の人がすれば、する。	失敗を怖れて新しいことにチャレンジしない。				
課題発見力	分析結果をもとに取り組むべき課題を明確にできる。	自ら、分析し、課題を明確にできる。	指示があれば、分析し、課題を明確にできる。	分析をするが、課題が明確にならない。	分析できない。				
計画力	目標達成のために優先順位をつけ、手順、方法の複数案の中から実現性の高い最適案を選択することができる。	優先順位、実現性の高さを考慮し、最適案を選択することができる。	優先順位、実現性の高さを考慮することができる。	手順・方法を考えることができる。	なにが優先かわからない。				
	計画と進捗状況の違いを把握し、計画を修正することができる。	進捗状況に合わせて計画を修正できる。	計画と進捗状況の違いに留意している。	計画を立てることができる。	無計画にすすめようとする。				
知識・理解	定性分析・定量の内容を理解している。	よく理解している。操作が正確で速い。	まあまあ理解している。操作は、正確である。	ある程度理解している。操作を間違えることがある。	できない。				
組織行動力	リーダーを中心として行動できる。 (協調性+リーダー; 計画性、他: 規律性) リーダーはその日の内容を考え、指示を出すことができる。その他の者は、リーダーの指示を仰ぎ行動する(敬語)。	よくできる。	まあまあできる。	周囲に助けをもらいながら、できる。	できない。				

課題

- 1 学期末にルーブリックを使って評価を行ったが、どのようなタイミングで評価を行えば、生徒が自身の学びを改善するようなよりよい振り返りになるか
- 2 「課題研究」という授業内容が変化する教科で、数値に表しにくい資質・能力をどのように評価すればよいか

山口県立下関工科高校の春日貴江先生は、2018年度、応用化学工学科の「課題研究」において、ルーブリックを使った評価を導入した。春日先生自身は既に自分の担当する専門教科でルーブリックを活用してきたが、生徒がグループで主体的に学習を進める「課題研究」では初めての試みだった。今回、ルーブリックを用いた評価は学期末に行ったが、生徒が自身の学びを振り返るといふ点で評価のタイミングは適切だったのか、検討したいと考えていた。また、生徒の自己評価、他者評価も印象評価になりがちだったため、数値化されなくても納得度の高い評価とするための仕組みも必要だと感じていた。

適切な頻度、タイミングで
納得度の高い評価を行いたい

検討メンバー



ツール提供者

山口県立
下関工科高校
春日貴江
かすが・よしえ



長崎県立諫早高校
高比良周一
たかひら・しゅういち



宮崎県立延岡星雲高校
柳井健二
やない・けんじ

*プロフィールは2019年3月時点のものです。

「課題研究」 ルーブリック



After

改良ポイント

1 授業の節目や

単元のまとめなど複数回、ルーブリックを使って評価させる

生徒が自身の学びの改善をスムーズに図れるよう、ルーブリックを使った評価の回数を増やし、評価結果を蓄積していく。

2 育成を目指す資質・能力のいくつかに焦点をあてて、理由とともに評価させる

評価の回数が増えたことで評価そのものに時間がかかりすぎないように、学校として育成を目指す資質・能力のうち、生徒が「自分が特に伸ばすことができた」「仲間が特に伸ばすことができた」と感じているものを選んで、理由とともに記述する。他者を評価した部分を切り取り、生徒間で交換することで、一人ひとりの生徒が自分自身を振り返られるようにする。

ルーブリック

資質・能力	行動目標	A	B	C	D
主体性	指示を待つのではなく、自分がやるべきことを見つけ、自発的に取り組むことができる。	自分がやるべきことを見つけ率先して課題に取り組む。	指示を仰ぎ、意欲的に課題に取り組む。	指示を待って、課題に取り組む。	前向きに課題に取り組むことができない。
実行力	失敗を恐れずに行動することができる。	何事に対しても前向きにチャレンジすることができる。	勧められればチャレンジできる。	ほかの人がすれば、する。	失敗を恐れて新しいことにチャレンジしない。

今回の授業・単元で特に伸ばすことができた資質・能力を2つ選び、そう思った理由を書きましょう。
また、そのほかの資質・能力についても評価しましょう。

自分を評価しよう						
名前	特に伸びた資質・能力	そう思った理由				
	・()カ					
	・()カ					
4段階評価		主体性	実行力	課題発見力	計画力	知識・理解 組織行動力

他者を評価しよう		
名前	特に伸びた資質・能力	そう思った理由
	・()カ	
	・()カ	
名前	特に伸びた資質・能力	そう思
	・()カ	

他者評価については、切り取って生徒同士で気軽に交換できるように、肯定的な記述のみとし、4段階評価は行わない

「理由」を述べながら、授業や単元の節目で評価に臨む

学期末に行ってきたルーブリックを用いた評価を、授業の節目や単元のまとめごとにし、具体的なエピソードの記述も行わせることで、評価を次の取り組みの改善につなげやすくなった。評価の機会が増えると評価に時間が割かれてしまい、授業時間が減ってしまふことも考えられるため、ルーブリックにおける6つの資質・能力を時間をかけずに評価できるように、その授業・単元で特に自分や他者が伸ばすことができたと思う資質・能力を2つ選んで、そう思う理由とともに自己および他者評価することにした。自分や他者が「身につけた資質・能力」を考えさせることで、長所を見抜く力を身につけさせたいというねらいもある。

次ページでは、3人の先生方の検討の様子をダイジェストで紹介!



このマークのある図版は、加工可能なデータとして、ベネッセ教育総合研究所のウェブサイト (<https://berd.benesse.jp>) からダウンロードできます。「HOME → 教育情報 → 高校向け → 生徒指導・進路指導ツール集」をご覧ください。

「課題研究」ルーブリック



活用の流れ

- 1 年度当初にルーブリックを生徒に配布し、評価の観点を周知する
- 2 授業や単元の節目などでルーブリックを用いて生徒が自己および他者評価する
- 3 年度末にルーブリックの改訂に取り組む。生徒に「どのような観点で評価してほしいか」などを聞き、改訂に生かす

根拠を語ることで、
評価の納得度を高め合う

「課題研究」におけるルーブリックは、生徒にとっては、学習活動の中で、自分の成長を測る手立ての1つである。ルーブリックをよりどころにした自己評価、他者評価は、可能な限り数多く行うことが望ましいと、検討会では意見が一致した。しかし、ただ何となく的印象でこれまで通りの4段階評価をすると、納得度の高い評価が実現するとは限らない。そのため、自分や他者が特に伸ばしたと思う資質・能力を選ばせて、そう思う理由を述べながら丁寧に評価させることにした。それによって、たとえ主観が土台であっても、納

得度が増すことを期待できるからだ。

さらに、自分や他者が「特に伸ばしたと思う資質・能力」という視点での記述を求めることで、他者を前向きに評価する力を身につけさせるようにした。もちろん、相互評価ではできていないことを指摘すべき局面もあるが、数値で評価できない活動に取り組む生徒には、まずは自分や他者のよいところを見抜き、言語化する力を身につけてほしいという声が多く聞かれた。

同校のルーブリックでは、育成を目指す資質・能力の一部は生徒たちの議論の中で定義されたことも紹介された。ルーブリックは学習の当事者である生徒が作り、改訂にもかかわるべきだという点でも意見は一致した。

検討メンバーの先生に、自身の指導観や自校の生徒特性を踏まえて、
ツールの活用方法や留意点などをお話いただきました

自分や他者の長所に気づく力を身につけさせたい

山口県立下関工科高校 春日貴江 かすが・よしえ



今回の検討会で得た大きな改訂方針の1つは、ルーブリックを基にした生徒の自己および他者評価の回数を増やすことです。生徒たちとその日の授業や単元で評価したい観点を選ばせることで、短時間でありながら、納得度の高い評価の場面を頻繁に設けられそうです。評価が漠然としたものにならないように、根拠となるエピソードや内省を記入させる案も取り入れたいと思います。

ルーブリックを使った評価を通して生徒に期待するのは、自分や他者の長所に気づく力を高めることです。高校卒業後は社会人として活躍する生徒が多い本校では、長所に気づく力は高校3年間のうちに確実に身につけてほしい力の1つです。自分や他者の長所に素直に目を向けられる雰囲気や課題研究の授業で醸成していけば、生徒のメタ認知能力も高まっていくと思います。先生方とお話する中で、ルーブリックのメリットに目を向けることができたことで、私自身の心が軽くなったことも大きな収穫でした。

春日先生プロフィール 教職歴20年。同校に赴任して3年目。応用化学工学科主任。工業科担当。「自己有用感を高め、母校に誇りを持ち、地域社会に貢献する産業人を育成したい」
学校プロフィール 全日制・定時制／機械工学科 電気工学科 建設工学科 応用化学工学科（以上、全日制、機械科（定時制）／共学／1学年約225人（全日制）、40人（定時制）／2018年度入試合格実績／なし（1期生の卒業は2019年3月）

「これからの学びの支援」につながる評価を

長崎県立諫早高校 高比良周一 たかひら・しゅういち



私たちはこれまで、「評価＝結果」とばかり考えてきたのかもしれない。しかし本来、評価は生徒のこれからの学びを支援する材料です。だからこそ、ルーブリックは学期の最後などに活用するだけでなく、途中で何度も活用して、次の学びを見通すことが大切です。「総合的な探究の時間」などは生徒全員に共通する数値目標がないからこそ、学習の価値を確認できるような肯定的な評価が不可欠です。本校では、生徒会役員が、委員会活動を評価・改善するためのルーブリックを作成しています。共通のゴールや指標が設定しにくい活動を評価・改善するという意味では、学校の様々なシーンでルーブリックが活用できます。

ルーブリックは作って終わりというものではなく、それを基にした指導の目線合わせと、ルーブリックそのものの見直しが必要でしょう。社会の変化を受け止めながら、「育てたい生徒像」を適切に更新し、それを共有しているか、ルーブリックを通した自己検証が私たち教師に求められています。

高比良先生プロフィール 教職歴20年。同校に赴任して10年目。2学年主任。CDA（*1）委員長。国語科。「生徒同士、生徒と教師の対話を通して、生徒の主体性、創造性を育む学校を目指したい」

学校プロフィール 全日制・定時制/普通科/共学/1学年約280人/2018年度入試合格実績（現役のみ）/国公立大は、東京大、京都大、大阪大、九州大、長崎大などに213人が合格。私立大は、東京理科大学、明治大、早稲田大、立命館大などに延べ140人が合格。

*1 Comprehension (理解)、Discovery (発見)、Ambition (大志) の頭文字をとった、同校独自の進路観醸成プログラム。

「評価」を通して学校のアイデンティティーを確立する

宮崎県立延岡星雲高校 柳井健二 やない・けんじ



ルーブリックを使った評価には、これまで個々の教師の暗黙知にとどまっていた見取りの力を、学校としての共有財産にするというメリットがあります。学校として育成を目指す資質・能力を生徒の活動場面に落とし込むことで、指導のぶれも少なくなるでしょう。また、生徒の中には自己肯定感が低く、集団での自分の価値、役割を十分に認識できていない生徒もいますが、そうした生徒にとってルーブリックは、「高校3年間でこういう姿を目指そう」というメッセージになります。ルーブリックを活用することで、学校としてのアイデンティティーの確立が促進されるわけです。

そのように考えると、ルーブリックの作成や見直しには、どんな生徒を巻き込みたいですね。本校でも「人間力向上」をスローガンにした課題研究が本格化しています。「活動してみてもどんな力が必要だと思っただ？」「もっと評価してほしかったことはある？」などと生徒に聞きながら、ルーブリックを作成、更新していきたいです。

柳井先生プロフィール 教職歴26年。同校に赴任して10年目。主幹教諭。教務部。英語科。「活躍できる場を与え、対話を通して導き、生徒一人ひとりに成長や自立を感ぜさせたい」

学校プロフィール 全日制/普通科・フロンティア科/共学/1学年約200人/2018年度入試合格実績（現役のみ）/国公立大は、山口大、宮崎大、大阪府立大などに25人が合格。私立大は、駒澤大、近畿大、福岡大などに延べ133人が合格。

改良したいのに、どうすべきか分からない……

指導ツールを募集しています！

「改良！ 指導ツール ビフォーアフター」では、取材にご協力いただける先生及び取材で検討させていただく「指導ツール」を募集しています。「自校で長年使っているツールを見直したい」「ツールのより効果的な活用法を検討したい」といった、課題意識をお持ちの先生方のご応募をお待ちしております。

〈個人情報の取り扱いについて〉をご確認いただき、必要事項①～④をご入力の上、指導ツールを添付して下記のe-mailアドレスにご送信ください。

※送信前に一度、生徒情報が削除されているかご確認をお願いいたします

- ①学校名・お名前
- ②分掌・ご教職歴
- ③ツールの内容（目的・活用時期・活用方法）
- ④ツールに対する課題意識、改善要望

view21_since-1975@mail.benesse.co.jp

〈個人情報の取り扱いについて〉 この「改良！ 指導ツール ビフォーアフター」のツール募集でご提供いただく個人情報は、今後の企画を検討する目的で利用いたします。お客様の意思によりご提供いただけない部分がある場合、手続き・サービス等に支障が生じることがあります。また、商品発送等で個人情報の取り扱いを業務委託しますが、厳重に委託先を管理・指導します。個人情報に関するお問い合わせは、個人情報お問い合わせ窓口（0120-924721、通話料無料、年末年始を除く、9時～21時）にて承ります。（株）ベネッセコーポレーション CPO（個人情報保護最高責任者）
上記をご承諾くださる方はご送信ください。